通信機は スタンダード

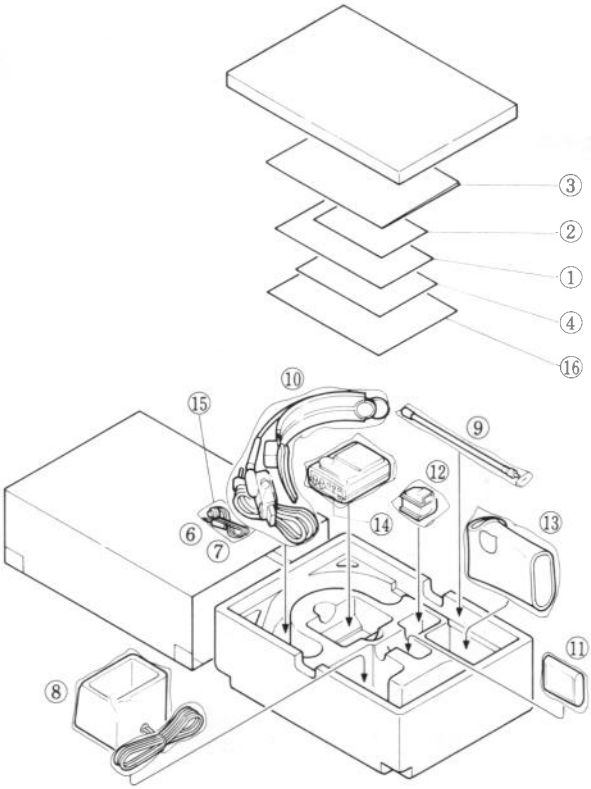
STANDARD

HX600

50MHz帯FMトランシーバー

取扱説明書

日本マランツ株式会社



付 属 品 一 覧

①保証書
②営業所一覧表
③取扱説明書
④愛用者カード
⑤ベルトクリップ(本体の背面に取り付けてあります。)
⑥イヤホーン(1mマグネチック型)
⑦イヤホーン(30cmダイナミック型)
⑧ディスクトップチャージャー(CSA600)
⑨フレキシブルアンテナ(CAT600)
⑩ヘッドセット(CHP600)
⑪ニッケルカドミウムバッテリー(CNB600)
⑫ヘルメットアタッチメント(CMB600)
⑬レザーケース
⑭防水キャップ(3個)
⑮ワイヤーアンテナ
⑯回路図

このたびは、50MHz帯トランシーバー HX600をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
HX600は、当社の厳重な品質管理および検査のもとに生産、出荷されておりますが、万一ご不審な点がありましたら、なるべくお早めにお買上げいただいた販売店あるいは弊社営業所、サービスセンターへお申し付けください。

特　徴

1. 50MHz帯小電力FMトランシーバーです。

2. 使い方に応じて選べる2つのオペレーションモード
   (1) VOX(VOICE OPERATION CONTROL)モード
   音声の有無により自動的に送信と受信の切り換えができます。ヘッドセットを使い便利なハンドフリーオペレーションが楽しめます。
   感度の高い"H"と感度の低い"L"に切り換えができ、3チャンネルの周波数が用意されております。

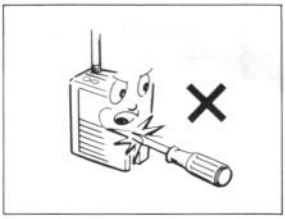
   (2) フルデュープレックスモード
   電話と同じように送信・受信が同時にできるので1対1の同時通話に便利です。
   デュープレックスモードはVOXモード(シンプレックス)と別に3チャンネルの周波数が用意されております。

   注意：フルデュープレックスモードで使用する場合は、送信・受信周波数の異なるAとBのペアー使用となります。

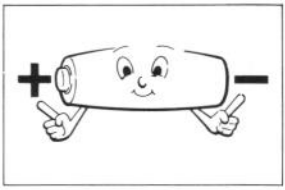
3. 通話可能範囲は、周囲の建物等使用する状況により通話距離は異なりますが、見通しの良い場所に於いて、
   1) VOXモードでは約600mから900m
   2) デュープレックスモードでは約150mから200m
   の通話が目安です。

ご注意

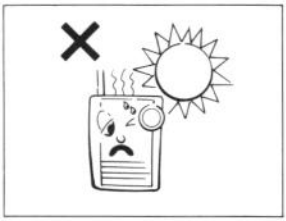
1. 内部の部品(コアーやトリマー等)は、電池を入れる部分以外を除いて手を触れないでください。



2. 本機に電池を入れるときは、電池の極性に十分注意してください。



3. 本機を保管するときは、高温、多湿またはほこりの多い場所は避けてください。



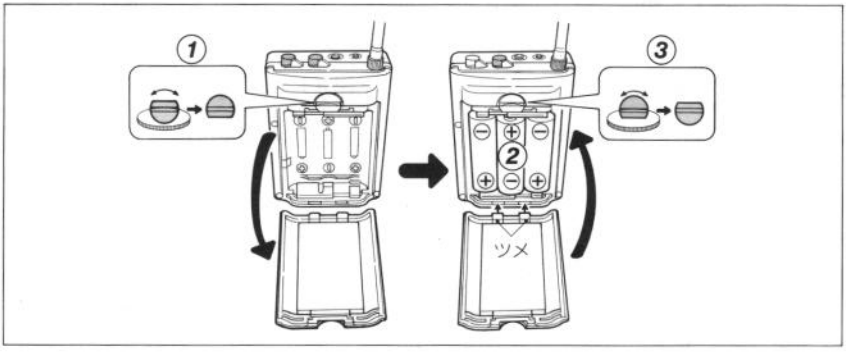
4. 本機は日常生活における防滴が施されていますが、水のなかなどには入れないでください。
尚、水滴が付いたときは、必ず水滴を乾いた布などで十分ふきとってください。

ご使用の前に

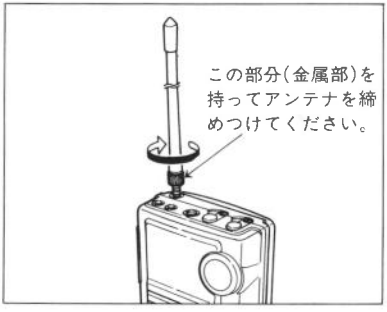
1. 図のようにバッテリーケースの蓋を外し、単3乾電池または、付属のニッケルカドミウムバッテリーパックCNB600を入れ、バッテリーケースの蓋をもとに戻します。

注意：乾電池または、ニッケルカドミウムバッテリーパックの極性を間違わないように入れてください。

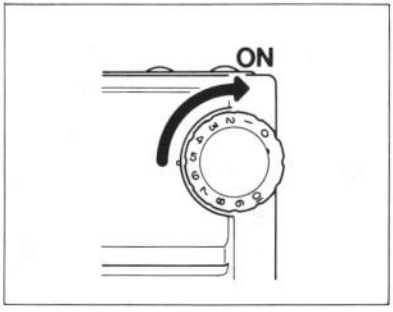
①ロックボタンを回転させバッテリーケースの蓋を外します。
②電池を入れます。
③バッテリーケースの蓋をもとにもどし、ロックボタンを回転させバッテリーケースの蓋をロックします。(蓋の下部にあるツメを先に本体ケースに引っ掛けてから行ってください。)



2. 付属のフレキシブルアンテナまたは、ワイヤーアンテナを取り付けます。(ねじこみタイプ)



3. 電源スイッチをONにして運用することができます。



これでHX600の準備完了です。

CHP600のご使用方法

1. ヘッドバンドを垂直方向に約180度回転し、拡げます。(図1)

2. 付属のイヤホーンをイヤホーンジャックに入れます。(図2)
(付属のイヤホーンは2種類ありますので、用途に合せてお選びください。)

3. ヘッドバンド部にマイクケース部を固定します。(図3)
ヘッドバンド部とマイクケース部を外すときは、図4のように①部を押しながら②方向に引き抜いてください。(図4)

4. ヘッドセットを頭部につけ、フレキシブルパイプ部を調整して、口元から2~3cmのところにマイクロホンがくるようにしてください。(図5)

5. プラグをHX600の所定のところに入れます。(図6)

これでCHP600の準備ができましたので、取扱説明書を参照の上、運用してください。

図1

図2

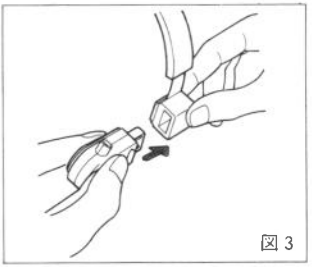


図3

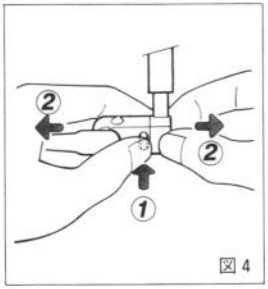


図4

図5

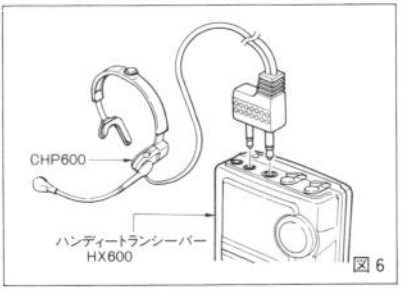


図6

各部の名称と動作説明

①電源スイッチ/音量調節ツマミ

電源のオン（ON）、オフ（OFF）と音量の調節をするツマミです。

②運用モード切り換えスイッチ

デュープレックスモードおよびVOXモード（シンプレックスモード）を切り換えるスイッチです。

③周波数切り換えスイッチ

運用周波数を切り換えるスイッチです。
VOXモード（シンプレックスモード）およびデュープレックスモードでそれぞれ3チャンネルの周波数が装備されております。

④付属アンテナ接続端子

付属されているフレキシブルアンテナ(CAT600)およびワイヤーアンテナを取り付ける端子です。

⑤外部アンテナ接続端子

別売り品のアンテナ付きヘッドセットCHP601用の端子です。またインピーダンス50Ωのアンテナを接続することもできます。

⑥ 外部マイクロホン接続端子

別売り品のアンテナ付きヘッドセットCHP601または、付属のヘッドセットCHP600用の端子です。必ず当社指定のヘッドセットをご使用ください。

⑦ 外部スピーカー端子

付属されているイヤホーンおよび付属のヘッドセットまたは、別売り品のアンテナ付きヘッドセットCHP601用の端子です。

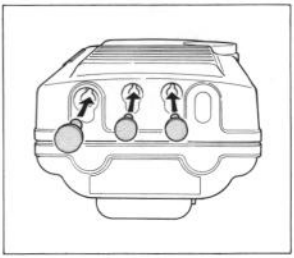
尚、付属以外のイヤホーンを使用する場合は、つぎのことをおまもりください。

インピーダンスが8Ωまたは32Ω、最大入力レベルが30mW以上

⑧ 防水キャップ収納穴

外部アンテナ等を使用するとき、外した防水キャップを収納しておく場所です。

付属のヘッドセットをご使用にならない時は、必ず防水キャップを各ジャックに入れておいてください。



⑨ 周波数表示マーク

本体裏にAまたはBのラベルが貼られています。AとBはデュープレックスモードにおける運用周波数が異なっています。

ご注意：デュープレックスモードでご使用になる場合は、必ず異なるマークのものをお選びください。

ラベル表示	VOXモード（シンプレックス）	デュープレックスモード
A----B	使用可	使用可
A----A	使用可	使用不可
B----B	使用可	使用不可

(1)HX600は、50MHz帯のJARL「アマチュア・バンド使用区分」内の周波数を使用しています。

(2)VOXモード時の使用周波数は、51、52、53MHz帯の3波を使用しています。

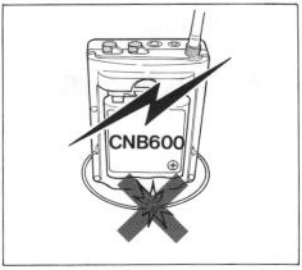
(3)デュープレックスモード時の使用周波数は、51、53MHz帯の3波を使用しています。

周波数表示マークAは、送信周波数：53MHz帯、受信周波数：51MHz帯です。

周波数表示マークBは、送信周波数：51MHz帯、受信周波数：53MHz帯です。

（HX600の運用周波数は、固定になっていますので周波数を変更することはできません。）

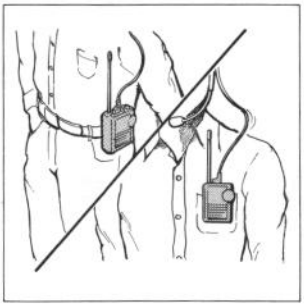
⑩ 充電端子



付属のニッケルカドミウムバッテリーパックCNB600を充電するための端子です。
但し、バラのニッケルカドミウムバッテリーは、充電できません。

ご注意：ニッケルカドミウムバッテリーパックCNB600を使用中は、端子と端子間を絶対接触させないでください。故障の原因になるおそれがあります。

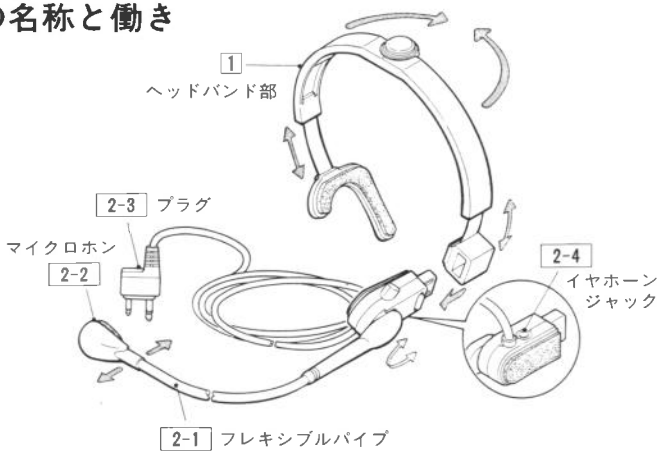
⑪ ベルトクリップ



胸ポケットあるいは腰ベルトにはさんでご使用ください。

CHP600　ヘッドセット

各部の名称と働き



1 ヘッドバンド部

バネ性のあるヘッドバンドです。
中央部に回転機構がありますので使用しないときは、収納スペースが小さくて済みます。

2 マイクケース部

マイクケース部は、下記の部分にて構成されています。

2-1 フレキシブルパイプ

マイクロホン部を任意の角度に調整することができます。

2-2 マイクロホン

小型のエレクトレットコンデンサーマイクロホンを使用しています。

2-3 プラグ

HX600と接続します。

2-4 イヤホーンジャック

付属のイヤホーンを入れるところです。

ご使用方法

1. デュープレックス運用

(1)付属されているヘッドセットCHP600の端子をHX600に差し込み付属のイヤホーンをCHP600のイヤホーンジャックにいれ、ヘッドセットを頭につけます。

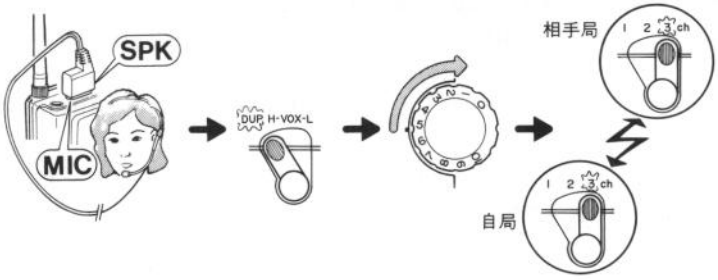
(2)モードスイッチをDUPに合わせます。

(3)電源スイッチ/音量調節ツマミを“5”ぐらいに合わせます。

(4)相手局のチャンネル番号と自局のチャンネル番号を合せます。

これでデュープレックスモードでの運用ができます。

ヘッドセットのマイクロホンに向かって話しをしてください。HX600を電話と同じように使用できます。



2. VOXモード運用

VOXモードは、音声の有無により自動的に送・受信を切り換える方法です。

(1)付属されているヘッドセットを端子に差し込み、ヘッドセットを装着します。

(2)モードスイッチをVOXに合わせます。

使用する場所によりVOX感度を2段階に切り換えることができますので、雑音が多い場所では“L”の位置で、静かな場所では“H”の位置でご使用ください。

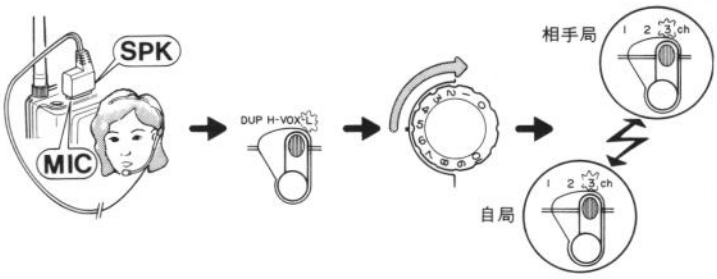
(3)電源スイッチ/音量調節ツマミを“5”ぐらいに合わせます。

(4)相手局のチャンネル番号と自局のチャンネル番号を合わせます。

これでVOXモードでの運用ができます。

VOXモード運用時は、マイクロホンに向かって話をすると、自動的に送信されます。

この時自分の声がモニターできます。



3. 別売りヘッドセット CHP601を使用する場合

(1)別売りヘッドセットCHP601に付属のヘリカルアンテナを取り付けて図のように端子に入れ、ヘッドセットを頭につけます。ヘッドセットのマイクロホンを口元2—3cmになるよう調整します。付属のイヤホーンを、CHP601のイヤホーンジャックに入れます。

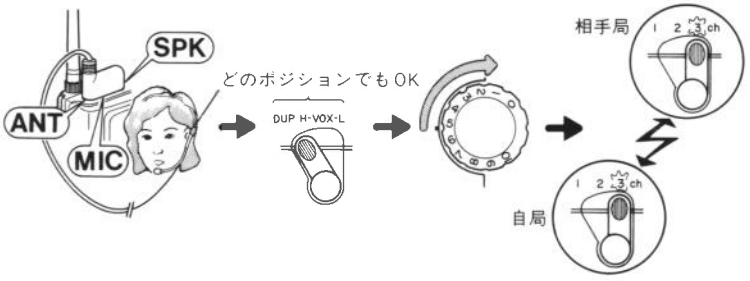
(2)モードスイッチはDUP、VOX H/VOX Lのどのポジションでも運用できます。

(3)電源スイッチ/音量調節ツマミを“5”ぐらいに合わせます。

(4)相手局のチャンネル番号と自局のチャンネル番号を合わせます。

VOXモード運用時は、ヘッドセットのマイクロホンに向かって話をすると、自動的に送信され、音声が無くなると、自動的に受信状態になります。

DUPモード運用時は、常時送信・受信状態となっていますので、マイクに向かって話してください。電話感覚でオペレーションができます。

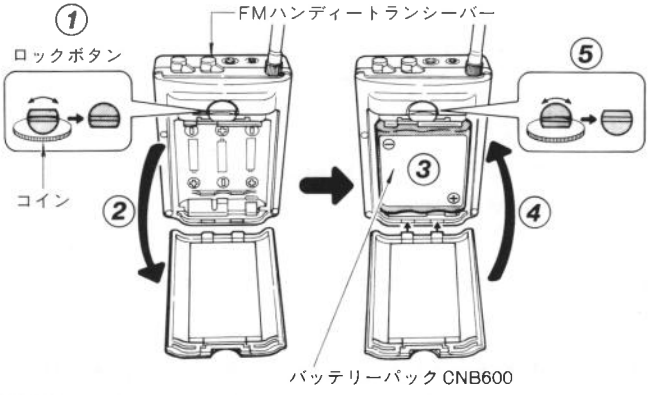


CNB600　ニッケルカドミウムバッテリーパック

ご注意：CNB600を使用する前には、必ず当社指定の充電器(CSA600)で満充電にしてください。

バッテリーパックの脱着方法

①ロックボタンをコインなどでまわし、②のようにフタを外します。
③バッテリーを本体に入れ、フタを下にあるツメに掛けて、④のようにかぶせます。
⑤ロックボタンを元にもどします。



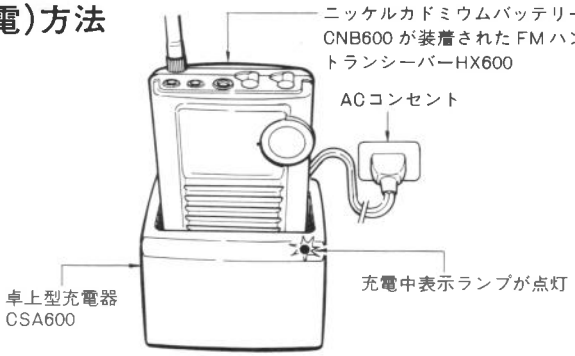
ご注意：電池の極性に十分注意してください。

ご注意

1. **電池の出力端子に直接リード線や接続端子を半田付けすることは、絶対おやめください。**
2. **電池の各端子を金属片などで接続すると、大きな電流が流れて、ヤケドなどの恐れがありますので絶対におやめください。**
3. **電池を水につけたり、火の中に投げ入れないでください。**
4. **電池を充電するときは、トランシーバーの電源スイッチをOFFにしてください。**
5. **過充電や過放電は、電池を早く劣化させますので、おやめください。**
6. **落としたり、強い衝撃をあたえないでください。**
7. **他の機器には使用しないでください。**

CSA600　卓上型充電器

取扱(充電)方法



1. 本機(CSA600)の電源プラグを、ACコンセントに接続してください。
2. ニッケルカドミウムバッテリーパックCNB600を、FMハンディートランシーバーHX600に装着し本機(CSA600)に入れます。
3. HX600を充電器に入れると、充電器の充電中表示ランプが点灯します。
   ご注意：充電中は、HX600の電源スイッチを、OFFにしておいてください。
4. CNB600がほぼ完全放電状態の場合は、約8時間後には満充電状態になります。
   ご注意：約8時間が過ぎましたら、必ず充電器からHX600を取り出してください。長時間充電状態が続きますと、バッテリーパックの劣化を早めることになりますのでご注意ください。

使用上のご注意

1. **本充電器(CSA600)は、CNB600専用ですので、CNB600以外の電池は充電しないでください。**
2. **本充電器は、家庭用100V電源にて使用してください。**
3. **本充電器を他の直流電源としては、使用しないでください。**
4. **充電器の内部に金属片や針金などは危険ですので入れないでください。**
5. **暖房器具の近くや強い直射日光の当たる温度の高いところ、またホコリの多い場所や湿気・湿度の高いところでの使用はおやめください。**
6. **充電器を分解しないでください。**
7. **振動の激しい場所での充電はしないでください。誤動作や故障の原因になります。**
8. **ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから外しておいてください。**

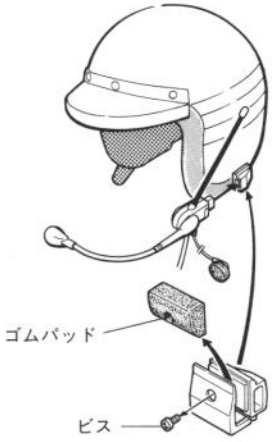
CMB600

CMB600は、各種ヘルメットにCHP600またはCHP601を取り付けるためのブラケットです。
下図のように取り付けてください。

①工事用ヘルメットへの取り付け

②オートバイ用ヘルメットへの取り付け

オートバイ用ヘルメットに使用する場合は、図の様にビスとゴムパッドを外して使用してください。



HX600　定　格

●一般仕様

送・受信周波数……50MHz帯
　VOXモード……3チャンネル
　デュープレックスモード……3チャンネル
送・受信方式……VOX(ボイスオペレーション)/フルデュープレックス
電波型式……F3
使用電圧……4.5V(SUM-3×3本)
空中線インピーダンス……50Ω
接地方式……マイナス接地
寸　法(高さ×幅×奥行き)……80mm×61mm×35mm
重　量……200g

●受信部

受信方式……ダブルスーパーヘテロダイン方式
中間周波数……1st IF 10.695MHz
　……2nd IF 455KHz
受信感度(12dB SINAD)
　VOXモード……－5dB(＊－11dBμ)
　デュープレックスモード……＋12dB(＊＋6dBμ)
スケルチ感度
　VOXモード……－7dB(＊－13dBμ)
　デュープレックスモード……＋10dB(＊＋4dBμ)
オーディオ出力……150mW at 8Ω
　(＊JAIA測定法による)

●送信部

変調方式……リアクタンス変調
送信出力
　VOXモード……約150mW
　デュープレックスモード……約40mW
最大周波数偏移……＋5/－5KHz

CSA600　定　格

入力電圧……100V 50/60Hz
消費電力……3.3VA
使用温度範囲……＋10℃～＋40℃
充電電流……4.5V 110mA
寸法(高さ×幅×奥行き)……61.5㎜×82㎜×63㎜
重さ……230g

保証アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認のうえ、販売店からお受取りいただき、よくお読みのうえ、大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の節は、お買いあげ販売店、又は弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無償修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買いあげ販売店、又は別紙の弊社営業所にご遠慮なくご相談ください。

工事設計

工事設計書

区　　分		第 1 送 信 機	第 2 送 信 機
発射可能な電波の型式 周波数の範囲		F_3 50 MHz帯	
変調の方式		リアクタンス変調	
終段管	名称　　個数	2SC2055×2	
	電圧　・　入力	3.3V　400mW	
送信空中線の型式			
その他工事設計		電波法第 3 章に規定する条件に合致している	

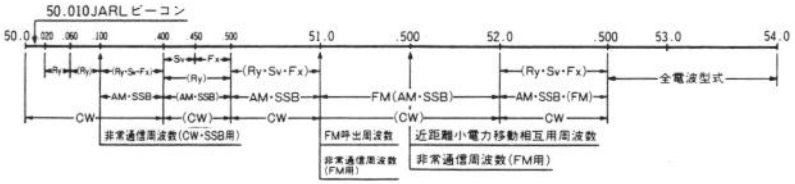
HX600 は JARL 登録機種ですので、送信機系統図の記入を省略することができます。

送信機系統図の欄にはHX600とご記入ください。

- 登録番号　S 50
- 送信機型名 HX600（日本マランツ）
  S 50

工事設計書記入に関して付属のアンテナを使用する場合は、送信空中線の型式の欄に“単一型”と記入してください。

JARL制定50MHz帯使用区分



(注1) 50.000MHz～50.010MHzの周波数帯は，流星散乱通信，オーロラ反射通信などに使用する。
(注2) 51.000MHz～52.000MHzのFM電波の占有周波数帯幅は，16kHz以下とする。
(注3) 52.000MHz～52.500MHzの周波数帯のFM電波は，海外局への応答に限り使用することができる。
(注4) FM系によるRTTY，SSTV及びFAXの運用は，全電波型式の区分で行なう。

62.6

日本マランツ株式会社

本　　社　〒228 神奈川県相模原市相模大野 7 丁目35番 1 号
営業本部　〒150 東京都渋谷区恵比寿南 1 丁目11番 9 号

ご注意：お問合せは日本マランツ(株)各営業所で承っておりますので全国営業所一覧をご覧ください。

Printed in Japan

278C851110